

## ながの ゆい 長野 由依

宿舎祭実行委員会ゆかたコンテスト担当長

「演者の方がショーに全力を出し切れるコンテストにしたい」と、宿舎祭実行委員会ゆかたコンテスト担当長の長野由依さん（情報メディア創成学類2年）は語る。昨年は表彰式担当の補佐をしており、当時の反省を活かしスムーズに企画を進行したいと話す。

高校時代、新型コロナウイルス感染症の影響で、人が集まって何かをする

イベントがなかった。そのため、大勢の人がゆかたコンテストを楽しみにしてくれていると思うと、担当長としての大きなやりがいを感じるという。また、「THK筑波放送協会さんや着付けの先生など、外部の人と交渉を行うことが多いのは大変だ。それでも自分の世界が広がることは楽しい」と、担当長としての想いを語った。（畠中）



# ゆかたコンテスト

## 6/1(土) 18:45 START

@平砂テニスコートメインステージ

3つのサークルと医学類1年生有志の合わせて4団体がパフォーマンスを競い合うゆかたコンテスト。メインステージにて宿舎祭のクライマックスを飾る。本番に向けて練習に励む、個性あふれる各団体の特色を代表者に聞いた。加えて、今年度は新たに宿舎祭実行委員会ゆかたコンテスト担当長にも取材を行い、やりがいや目標を探った。（龍）

## 超ときめき♡医学部

ゆかたコンテスト出演の伝統があるという医学類。「医学類の1年生に声をかけて、仲が良い人たちが集まった」と間海翔さん（医学類1年）は話す。

団体名は「超ときめき♡宣伝部」というアイドルグループのパロディーであり、パフォーマンスも「超ときめき♡宣伝部」の楽曲に沿ったものとなっている。好きな人に振られ、そこから可愛くなる女の子をモチーフにした楽曲があり、それに合わせて寸劇を行うという。

「センターの人があらかじめ決まっており、その人に合う楽曲を選んだ」と話す。そんな医学類のアピールポイントは「センターの女の子のトキメキ具合」だそう。最後に間さんは「医学類でめちゃくちゃかわいいと話題のあの子が浴衣に！？乙女の恋の逆襲をご覧あれ！」とアピールした。（北口）



## The Empire of Tsukuba

普段はサイリウムダンスのサークル団体「The Empire of Tsukuba」の一員として活動している矢場理人さん（社会学類3年）。当日のステージでもサイリウムダンスを披露することが決まっており、被り物を用いたこだわりの衣装を着用するという。

このサークルは、6年前に宿舎祭のステージがきっかけで誕生した。「ゆかたコンテストには数年ぶりの出演になるので楽しみにしてほしい」と笑顔で意気込んだ。ステージのコンセプトについて「『はじける』というコンセプトのもと、観客を楽しませることがメインとなっている」と矢場さんは語った。懐かしさを感じる曲とともにサイリウムダンスも衣装も楽しんでほしいと話す。（小野）



## こぐまぼん 고구마빵

こぐまぼんは、「浴衣でK-POPを踊ったら面白いのではないか」という声から、고구마というK-POPダンスサークルを母体として結成された。昨年度に引き続き、今年度も浴衣をコンセプトとしてK-POPを踊るという。各メンバーの浴衣により彩られるステージ上では、「可愛いだけではなく格好良さも追求した。踊り一つ一つにおける細かい振り付けやそのシルエットを楽しんでほしい」と団体代表者の西佑巴さん（社会学類3年）は語る。

「メンバーは昨年と半数以上が入れ替わった。これまで以上に多様なメンバーのもとでパフォーマンスがどのようなものとなるか、注目してほしい」と話す。（中野）



## 宿舎祭とは

筑波大学宿舎祭、通称「やどかり祭」とは、新入生を中心に学生同士の交流を促す行事である。縁日、ゆかたコンテスト、火文字、野外ライブ、御輿、花火などの企画が行われ、活気に満ちた2日間となる。

開学とほぼ同時にスタートした宿舎祭は今年で50回目であり、コロナ禍での中止を除き毎年行われている。1年生を中心に多彩な出店が行われ、その企画の実現に向け協力することで親睦を深める良い機会となる。加えて地域住民も訪れるため、大学と地域の交流の場でもある。

今年の宿舎祭は5月31日の前夜祭と6月1日の本祭の2日間、平砂宿舎周辺の至るところで企画が行われ、人々を楽しませる。（田沼）

## 浴衣浪漫

「歌声で魅せたい」と浴衣浪漫の代表である長谷川陽希さん（知識情報・図書館学類2年）は語る。

浴衣浪漫がパフォーマンスに用いる曲はYOASOBIの『大正浪漫』だ。ステージでは、楽曲の世界観を浴衣や甚平で再現し、なおかつ6人の歌声をアカペラで会場中に響かせる。「見どころは、曲が進むにつれてどんどん盛り上がり越来越高いところだ」と長谷川さんは意気込む。「原曲のミュージックビデオの盛り上がり表現したい」など「アカペラで勝負する」という熱い思いを語った。ゆかたコンテストにアカペラで挑む浴衣浪漫のステージが、宿舎祭に新しい風を吹かせるだろう。（亀山）



# 宿舎祭を心から楽しもう!!

# Campus

全大会の広報誌  
May. 2024

## 宿舎祭特別号

🌸 宿舎祭とは

🌸 ゆかコン出場団体インタビュー

🌸 ゆかコンの舞台裏  
実行委員会ゆかコン担当長に迫る

全大会の広報誌  
宿舎祭特別号

2024年5月27日発行

編集長 大谷 美琴

発行人 榎本 陽子

表紙デザイン 佐藤 陽亮

編集委員 佐藤 陽亮

菅原 由乃 江波戸憧音

大谷 美琴 勝又 玲 川島淳一郎

近藤あかね 篠崎 健太 高橋 愛果

佐藤 凌 岡本 翔太 高塚 絢湖

水野 舞優 榎本 陽子 山下 大樹

鈴木 史磨 山本 詩温 山田 美浩

太田 祈心 安東 和光 小野さくら

亀山 杏佳 畠中 真 北口 遥

中野 佑 田沼結美子 龍 茂花

渡邊 三姫 副島 佑生 山下 モカ

発行 全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議  
広報委員会

<https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/>

([publicity@zdk.tsukuba.ac.jp](mailto:publicity@zdk.tsukuba.ac.jp))

Campus